

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称		神奈川県都市公園整備計画																			
計画の期間		平成22年度～平成27年度（6年間）																			
計画の目標																					
神奈川県豊かな自然や風土と調和した魅力的な都市公園を、環境への負荷軽減や生物多様性にも配慮しつつ、市町やまちづくりと連携して整備することを目標とする。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
・歴史的建造物等の指定数の増加 ・大磯町への観光客数を84万人(H23)から100万人（H26）に20%増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考									
										当初現況値	中間目標値		最終目標値								
		文化財保護法及び大磯町文化財保護条例に基づいた歴史的建造物並びに景観法に基づいた景観重要建造物の指定箇所数の増加を目指す。								3箇所		6箇所									
		大磯町への観光客数を通年計測する。								84万人/年		100万人/年									
全体事業費		合計 (A+B+C)		1,353.0 百万円		A		159.0 百万円		B		0.0 百万円		C		1,194.0 百万円		効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		88.2%	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																					
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期											
										平成29年度											
町内部評価										公表の方法											
										町ホームページにて公開											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A 基幹事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考							
								H23	H24	H25	H26	H27									
1-A-32	住宅	一般	大磯町	直接・間接	大磯町	大磯駅周辺南地区街なみ環境整備事業	施設整備、生垣設置助成等							159							
													合計	159							
C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考							
								H23	H24	H25	H26	H27									
1-C-8	住宅	一般	大磯町	直接	大磯町	旧吉田茂邸整備事業	施設整備							543							
1-C-9	住宅	一般	大磯町	直接	大磯町	歴史・文化資源活用事業	歴史資料・パンフレット作成・セミナー開催							2							
1-C-11	住宅	一般	大磯町	直接	大磯町	駅前駐輪場整備事業	施設整備							641							
1-C-12	住宅	一般	大磯町	直接	大磯町	大磯中学校外構整備事業	施設整備							8							
													合計	1,194							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考	
1-C-8	街なみ環境整備事業（A-32）に合わせて、焼失した旧吉田茂邸を戦後の政治史を学ぶ体験学習施設として再建することで、更なる公園利用者増を図るとともに、来訪者と地域住民の交流拠点とする。																				
1-C-9	街なみ環境整備事業（A-32）と合わせて、戦後政治史の中心的人物であった吉田茂をはじめ大磯町に縁のある人物や建物に関する歴史資料等を作成、活用することで、日本近代史研究の拠点としてのまちづくりを図る。																				
1-C-11	街なみ環境整備事業（A-32）と合わせて、町営の駅前駐輪場を整備し、恒久的な放置自転車対策を講ずることにより、大磯駅前の良好な町なみ形成の維持を図る。																				
1-C-12	街なみ環境整備事業（A-32）と合わせて、大磯駅から大磯城山公園の中間に位置する大磯中学校の外構について、景観に配慮した外構に改修することにより、ゆとりとうるおいのある良好な街なみ形成を図る。																				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		景観重要建造物整備事業として、日本に現存する最古級のツーバイフォー住宅である旧木下家別邸の整備のため、大磯町土地開発公社が所有している旧木下家別邸の敷地を取得するとともに、敷地の修景を行い、優れた景観を作り出すことができた。また、あわせて景観重要建造物を示す標識を敷地内に設置したことにより、地域住民だけでなく、観光客に対しても歴史、文化の薫る町としての周知を図ることができた。 同様に景観重要建造物整備事業として、日本三大俳諧道場の一つに数えられている鳴立庵の整備として、消火ポンプ更新工事並びに裏門修繕及び内装修繕を行い、歴史的建造物の焼失を防ぐとともに、自然と歴史が一体となった大磯町らしい風格ある良好な景観の保全を図った。また、表示板整備については、石碑等の名称の表示を行い入庵者に対してわかりやすくするとともに、庭園灯整備を行い、敷地内の安全性の確保を図った。 その他、大磯駅前ロータリー整備として、町の玄関口である大磯駅前にある彫刻について塗装を施し、設置当時の色合いを再現した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標① (指定箇所数の達成)		6 箇所		景観法に基づく景観重要建造物を事業期間内に 2 箇所指定した。なお、残る 1 箇所は事業期間中において保存改修及び耐震化工事を行うとのことから、所有者等との協議の中で工事完了後に指定することで協議が進められ、平成26年度末の工事完了の後、指定を行った。
			5 箇所		
	指標② (観光客数の達成)		100万人		平成26年度末で大磯に訪れる観光客数を20%増やし100万人という指標で事業を実施していたものの、目標値には達することができなかった。しかしながら、県立城山公園の旧吉田邸地区内に旧吉田茂邸が完成し、4月1日に開館している。すでに3万人を超える入館者が訪れており、町内の新たな観光スポットとして予想をはるかに上回る賑わいを見せているため、事業期間外ではあるが今後の観光客数は目標値に近づけるのではないかとと思われる。
			86万人		
	指標③ (「緊急自動車による現場到着所要時間」の平均時間)				
	指標④ (住宅の耐震化率)				
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		旧吉田茂邸が開館して以降、町内に観光客の姿が多く見受けられるようになった。来町した観光客は、同施設はもとより、自然と歴史文化が一体となった大磯駅前の瀟洒な佇まいや旧東海道の面影が残る道路など当町でしか味わえない雰囲気も大磯の良さとして感じているものと思われる。効果促進事業において実施した各事業は、大磯の雰囲気を壊すことの無いよう、観光客数の増加や環境の保全及び修景を図ったことにより、基幹事業との相乗効果により更に大磯の価値を高められた。			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
引き続き、来町者を増やしていくことで大磯のことを知ってもらい、一度きりではなく何度も訪れたい、更には住みたいと思われる町となるために大磯の自然と歴史文化を維持保全を図っていく。					